

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	大阪商業大学	整理番号	1-5-018
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	地域や高校と連携した起業教育・起業家育成		
申請単位	大学全体		
申請担当者	片山 隆男		
<p>(取組の概要)</p> <p>大阪商業大学は、「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とし、わが国有数の中小企業の集積地である東大阪市において、数多くの起業家を輩出してきた。しかしながら、景気低迷が長引き日本経済の相対的地位の低下が懸念される昨今、経済社会においては起業家精神に溢れ、変革をリードする人材の養成に対する期待がこれまで以上に高まっている。</p> <p>こうした社会的要請に応えるべく、地域の経済界や高校との連携が不可欠との問題意識のもと、平成 10 年度より本格的な起業教育・起業家育成に取り組んできた。その特徴は、起業家精神の涵養からインキュベーション施設や出資制度による創業者支援にいたるまでのトータルな取組であり、かつ地域および高校と連携した取組となっていることである。本学における起業教育・起業家育成は、『本学学生への起業教育』を軸に、『地域と本学が連携した起業家育成』および『高校と本学が連携した起業教育』という 3 本の柱で構成されている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、大阪商業大学の教育目標である「世に役立つ人物の養成」を達成するために組織的に実施され、「大阪商業大学ビジネス・パイオニアコース」の設置や「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」などに実証されるように大きな成果を上げています。</p> <p>現在、大学には、社会・経済構造、産業構造の急速な変化に対応できる特色ある教育が求められており、この取組の「地域や高校生と連携した起業教育・教育家育成」は、こうした社会の多様な要請に応える優れた取組であると認められます。特に、東大阪地域の地元企業との連携は組織化されてきており、インキュベーション施設を持つ点などについて先進性が見られます。今後大学に、地域産業、高等学校との連携の工夫が求められることを鑑みれば、この取組は他の大学、短期大学の参考になる優れた事例であると言えます。</p> <p>また、この取組には、起業教育の土台となる専門科目などの教育を総合的・実践的な学修として、どのように工夫していくかという課題も認められますが、これを克服すれば更なる発展が期待されます。</p>			